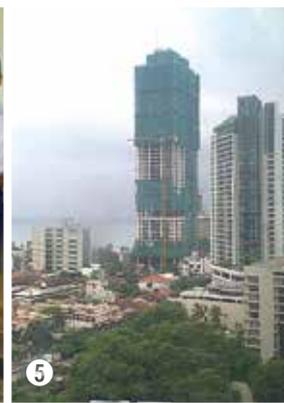


スリランカ選手の 事前キャンプを山武市で!

Get the chance

活力ある山武市を創り未来の子どもたちへ夢と希望をつなぐため、スリランカのオリンピック・パラリンピック選手の事前キャンプをオール山武で「お・も・て・な・し」。



1_フルーツマーケット 2_クリケットのバット 3_折り紙に挑戦 4_ティーセレモニー 5_開発途中中のコロンボ市街 6_青少年クリケットチーム
7_仏歯寺(世界遺産) 8_JICA隊員の活動先(障がい児施設) 9_シーギリヤロック(世界遺産) 10_スポーツ大臣との書簡の交換
11_スポーツ大臣表敬訪問 12_タミルカレー料理 13_スリランカオリンピック委員会との合意書にサイン

東京オリンピック・パラリンピックをまちづくりにかす

経済の低迷や少子化などにより合併以来、山武市の人口は減少しています。地域を活性化させ、雇用を生み、定住者を増やし人口減少に歯止めをかけなければなりません。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催は、世界に向けて市の魅力アピールする絶好の機会であり、グローバル化のチャンスです。成田空港に近い強みをいかし、海外の成長を取り込み、大会の開催効果を市の発展に結びつけていくための取り組みを積極的に進めていきます。

そのため、市では「山武市東京オリンピック・パラリンピック戦略推進基本計画」を決定し、その一環として、スリランカ選手の前キャンプを招致し、青少年相互交流事業を実施することとしました。

なお、市のこれらの取り組みは、東京オリンピック・パラリンピックに参加する国・地域と全国自治体が人的・経済的・文化的な相互交流を図るとい国の「ホストシティ・タウン構想」にも合致しています。

なぜ? スリランカ

スリランカは、治安が良好で政治も安定し、持続的な経済発展が見込まれる伝統的な親日国です。

昨年4月にスリランカとつながりがある元市内小学校長の紹介により、スリランカ政府にも関わりのあるチャンダシリ高僧(スリジャヤワルダナプラ最高僧侶・スリランカ日本教育文化センター事務局長)と市長が、事前キャンプ招致や青少年相互交流事業について対談しました。その後、高僧の橋渡しにより、スリランカ政府と折衝することができました。

このような経緯により、スリランカと交流を進めることになったものです。

書簡を交換



昨年12月17日に市長がスリランカを訪問し、スリランカのスポーツ大臣との間で事前キャンプや青少年相互交流事業についての書簡を交換。併せてオリンピック委員会会長とも事前キャンプに関する合意書を交わしました。



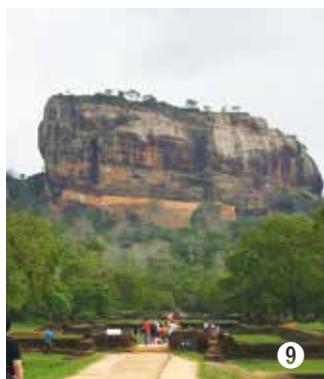
スリランカってこんな国！

スリランカは日本と同じ島国。北海道の約8割の大きさです。この小さな島国に、世界遺産が8つもあります。長い間「セイロン」という名前で知られてきましたが、1978年に今の国名であるスリランカ民主社会主義共和国に改称しました。日本から直行便の飛行機で約9時間、日本とスリランカの時差は3時間30分です。

<産業> 紅茶輸出量は世界第1位で、世界的に有名な紅茶「セイロン・ティー」の産地。世界4大宝石産地の一つです。

<食事> カレーが基本。主食はご飯。日本のカレーライスとは違い、たくさんの種類のスパイスをとうがらしやさまざまな具材と一緒に煮込んだ辛いカレーが一般的。野菜を多く使い、油をほとんど用いないヘルシーなものです。紅茶もよく飲まれ、特にミルクティー（キリティー）が好まれています。また、南国スリランカは、新鮮なトロピカルフルーツの宝庫でもあります。

<学校> 義務教育は12年間。人気のあるスポーツはバレーボールとクリケット。イギリスで生まれたクリケットが、植民地だったこの地域にも伝わりました。



スリランカ事前キャンプ 招致決定記念講演会

講師 スリランカ国オリンピックスリヤーニ・クラワンシャ氏
日時 4月15日(水) 午後6時30分～
場所 成東文化会館のぞくプラザホール
言語 英語(通訳付き)
内容 スリランカとオリンピックについて



スリヤーニ・クラワンシャさんの主な経歴

スリランカの陸上100m ハードル代表選手として、バルセロナ大会、アトランタ大会、シドニー大会の3度、オリンピックに出場。

現在は、スリランカ教育省スポーツコーチとしてスリランカ国内で活躍中。

青少年相互交流事業

スリランカに対する理解を深めるとともに、日本や自分の生まれ育った地域について、見つめ直す機会とします。また、スリランカの文化やスポーツなどの異文化にふれ、自分の将来に夢と志をもてる生徒の育成を図ることを目的とします。

実施期間 毎年7月下旬から8月初旬までの1週間程度(夏季休業期間)

対象・募集人数 市内中学校および高等学校(松尾高校・成東高校)に在学する生徒合計10人

内容 (1)スリランカの中学校(高校)を訪問、授業の体験、スリランカの中学生(高校生)との交流 (2)JICAの活動を視察 (3)日本国大使館、現地進出日本企業を訪問 (4)スリランカの文化・スポーツ体験 (5)世界遺産の見学

参加者負担 6万円程度

※詳しくは市内中・高に配布するリーフレットをご覧ください。